

## 新年のご挨拶

県央経営者会 会長 大泉 政治



**明** けましておめでとございます。会員の皆様には、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年12月の衆議院の総選挙では、自民民主党が政権に返り咲き、経済の再生に明るい灯がともったと思います。また、大震災からの復興も早急に達成できるよう期待したいと思えます。しかしながら、原子力から再生可能エネルギーへの移行が、どのような道のりを辿るかは、国民共通の懸念となっております。

一方、県央経営者会におきましては今年で創立8周年を迎え、いよいよ2年後の10周年には、この10年間の活動の集大成が示されることとなります。その有力な候補と

しては、黒岩知事が県央を「ソーラー都市」にしようと就任時に言われたことを受け、県央経営者会の主導により厚木市内にメガソーラー設置第1号を達成するという成果を上げることができました。また、相模川の緑化計画に力を注いでまいりました成果が、バラ園というカタチになって花開いております。さらにチームアトムと協力し、介護ロボットの推進役として「ロボット産業特区」の実現を目指して活動中であり、特区の実現が成功すれば県央地域が介護ロボットの先進地域として認定されることとなります。これがビジネスマッチングの一つの起爆剤となり、県央地域の経済活性化に結びつくことを期待しております。

さて本年は、昨年実現できなかった問題、すなわち小田急線急行に、高齢者や身体的弱者を主対象とした「グリーン車」をつけることを陳情したいと考えております。すでに近隣5市の首長の賛同を頂いておりますので、できるだけ早い時期に小田急電鉄様に陳情に伺おうと考えております。

また、小田原駅の新幹線「ひかり」号の停車本数増加についても引き続き尽力してまいります。

今年もまた県央地域の経済発展のため、会員の皆様と協力して、明るい未来を見据えた活動を展開して参りたいと思えます。会員の皆様の更なる発展と健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



第38回例会

「世界の日産が描く未来のモビリティ社会像」開催



講演者 篠原 稔氏（日産自動車㈱常務執行役員）

■日時 平成24年10月29日（月）午後5時より7時10分  
 ■会場 レンブラントホテル厚木 3階相模の間

第38回の例会は、講演の前に会員会社のお店訪問

DVDを流す関係から、通常の6時開始を繰り上げ、

5時開始となりました。プログラムでは、DVDの放

映前に挨拶などを予定していましたが、開始時間が

1時間繰り上がった関係で、予想以上に会員の出席

が悪く、プログラムの順序を入れ替えて、総務委員会

委員長 竹村和子氏の開会挨拶のすぐ後にDVDの

放映が行われました。DVDは、今回は次の5社のお

店を訪問しました。①吉川醸造㈱吉川 勝之氏、②荒

川米店㈱荒川 誠二氏、③㈱柏木牧場 柏木 貞俊

氏、④㈱ブックランド 假屋瀬 和弘氏、㈱マルモト

田中 由起氏。

日産自動車㈱常務執行役員の篠原 稔氏の講演は

6時から開始され、7時前に終了、それから質疑があ

り予定通りに講演は終了しました。講演は大変好評

で、特に車に明るくない方達も、これから実現するで

あろうEV（電気自動車）の世界の可能性がよく理解

できたと思います。EV車がスマートタウンの電源

の一つとなりうるということに、改めて感心した次

第です。

最後に総務委員会副委員長の高井 男氏のことばで例会の締めとなりました。

それにしても最初から順番の入れ替えが起こり、

司会の岡見 健氏は大変頭を悩まされたことと推

察申し上げます。御苦労さまでした。また、進行の

霜島 篤氏も受付と会場を行ったり来たりと大変

な一夕でした。御苦労さまでした。

例会終了後、開催された懇親会は、小原正氏の司

会により川添 勝憲氏の開宴のことばで開始され

ました。乾杯の音頭は杉田 泰繁氏（厚木商工会議所

副会頭）。

懇親会では、例会で流されたDVDの3社からそれ

ぞれ10個ずつの商品が提供され、それがテーブル対

抗じゃんけん大会の賞品となりました。このアトラ

クションは安斎 蒼慶氏の進行で大変盛り上がった

ものになりました。賞品をご提供いただいた、荒川さ

ん、田中さん、柏木さんありがとうございました。

そして横手 久枝氏（会員親睦委員会副委員長）の中締

めでお開きとなりました。

## 1. 電気自動車 日産リーフの紹介

日産リーフは、2010年から発売し今現在世界で4万台以上が走っています。日本カー・オブ・ザ・イヤーを始め、各国のカー・オブ・ザ・イヤーも受賞しました。リーフの特徴は、排出ガスがなく、音もガソリン車に比べて5分の1位でとても静かで、加速度はフーガに比べても遜色がありません。また、一番重いエンジンが車体の前方に乗っているガソリン車に比べ、リーフが一番重いバッテリーが車体のセンターにあるため、操縦安定性の応答がとても良いのです。

リーフの走行中は、常にデータ・センターとつながっており、充電スポットがナビゲーション上で、直ぐに分かるようになっていきます。サンフランシスコの環境主義者に試乗してもらったところ、「これこそが我々が望んでいた車だ」と政治を超えて絶賛された事が非常に嬉しい出来事でした。

## 2. 技術面からみた日産リーフ

バッテリーの進化が顕著で、10年前に比べ大きさが半分位になったため、その分キャビンのスペースが大きく取れるようになりました。バッテリー性能は劇的に向上しましたが、バッテリーの業界は今や大競争時代に入っているため、更に低価格になっていくことを望んでいます。

リーフの航続距離は200kmとなっていますが、エアコンなどの使用条件によりその7割位となることもあります。このため、いかに電力消費量を減らすかが今後のメイン・テーマとなっています。電気自動車の7割はエレクトロニクス部品でできているので、いわば大きな電気製品といっても過言ではありません。また、衝突試験では前後がつぶれ、中間にあるバッテリーやキャビンがつぶれないように安全設計をしています。電気自動車はエンジンがないため、

室内も静かですが、室外も音がしません。時速20km以下の速さでは音が聞こえないので、かえって歩いている人が気がつきにくく、特に目の不自由な方には危ないので、意図的に走行音を発生させています。

## 3. インフラ

充電方式は、普通充電と急速充電の2種類があります。日本は、急速充電のいわば先進国で、10km、20km走れば充電施設がありますが、更に充電施設を3〜4倍に増やしていく予定です。急速充電の数については、現在欧州は200箇所位、アメリカは100箇所位あります。アメリカで電気自動車が一番売れているカリフォルニア州では、都市部の充電施設は充実していますが、都市と都市の間に少ないのが課題です。

## 4. 電気自動車の意義について

GDPが高くなると人の移動距離が増えることが分かっており、経済成長に従い、人の移動距離が長くなるため、グローバルでは自動車産業は更に倍くらい増加すると予測しています。ネガティブな面としては、渋滞問題、事故の問題があり、全世界で年間120万人が亡くなっています。日本などの先進国では事故による死者は減少していますが、新興国・途上国で増加しています。

エネルギーの観点からは、車は電動化することで、移動体として最も効率が悪くなると考えています。地球環境の観点から、世界エネルギー機構の試算では温暖化を防止するには、大気中のCO<sub>2</sub>濃度を450ppm以下にしなければならず、そのため車からのCO<sub>2</sub>排出は9割削減する必要があります。達成するには電動化しかありません。また、エネルギーのセキュリティの観点も欠かせません。電気自動車には次の3つの要素があると思います。

① 移動体として最も効率が良い

② 蓄電池としてエネルギーのセキュリティが可能

③ CO<sub>2</sub>を排出せず環境にやさしい

電気自動車は、動かないときは電気を貯めておくことができるため、太陽光発電で昼間余った電気を貯めておき、夜その電気を使うことができます。車は意外と停まっている時が多いので、充電スタンドで電気の出し入れができるようになっていけば、夜間の余剰電力を電気自動車へ充電しておき、昼にその電気を家で使用することで、電力受給が一番厳しい昼のピークをカットするような使い方もできます。

日産は、電気自動車の普及とインフラの充実に国や自治体に働き掛けており、現在、23ヶ国41都市とパートナーシップを結んで実証実験を推進しています。

こうした実証実験はグローバルな視点で実施することが重要です。今世界中でスマートシティの実証実験が行われていますが、日本においては日本企業だけで実証実験を行っているため、外の世界に広がっていきません。

国によってそれぞれ実情が異なるのでオールジャパンに固執せず、その国や地方に合った車を作っていくかなければいけないと思います。現地の人と一緒に車を作るには、技術だけでなくビジネス観点での補完関係も大切と考えています。異なるカルチャーや異なるバックグラウンドを持った人と一緒にやっていくことで、単にモノを売るだけでなく、一緒に仕事をしていくということがキーポイントになると考えています。

日本は震災によって大きなダメージを受けました。日産も栃木工場などに被害を受けましたが、非常に早く復興できたのは日本人の頑張りももちろんありますが、部品を世界中から調達していたグローバルな視点があつたことも忘れてはならないと思っています。

# 「成長企業の人材戦略」

## 第39回例会

青年会主催



県央経営者会青年会主催の第2回目となる例会が開催されました。今回は、人材戦略のエキスパートである、エン・ジャパン株式会社の鈴木 孝二社長にご講演をお願いしました。青年会が中心となって運営・進行を担当し、親会の会員はお手伝いに回りましたが、ちょうど衆議院選挙が重なり司会者の佐藤誠悟氏にはスケジュールの変更など大変ご苦労いただきました。

### 〈当日の進行担当者〉

- 総合司会 佐藤 誠悟氏(株)サンライン)  
 開会のことば 今井 銀河氏(今井塗装)  
 閉会のことば 小林 大介氏(神奈川県議会議員)  
 懇親会開会挨拶 小師 保雄氏(旬紙工・小師)  
 懇親会司会 中込 淳之介氏(海老名市議会議員)  
 中締め 高田 雅将氏(マイソノコンサルティング(株))

### 講演 「成長企業の人材戦略」

エン・ジャパン(株)代表取締役 鈴木 孝二氏

講演内容は、企業の人材戦略を中心に、特に若手に対してどのようなマネジメントをしていけばよいかについて、お話ししていただいた。当日の内容は次頁のPPTファイルを参照して下さい。

■ 日時 平成24年12月10日(月) 午後6時～7時40分  
 ■ 会場 レンブラントホテル厚木 2階 暁紅の間



会社概要

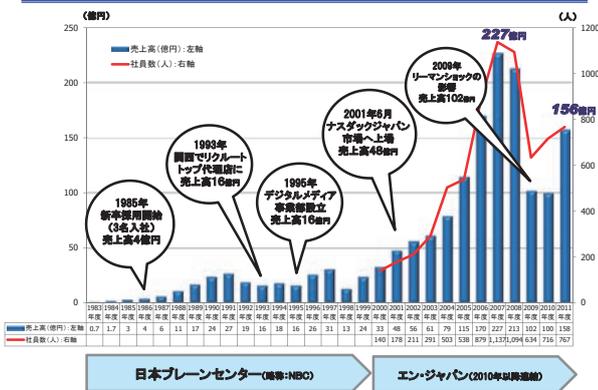
会社名	エン・ジャパン株式会社 (en-japan inc.)
設立	2000年1月(創業1983年9月)
代表者	代表取締役会長 越智 通勝 代表取締役社長 鈴木 孝二
本社所在地	東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー
事業所	東京、大阪、名古屋、福岡、横浜、上海、北京、シンガポール、香港、韓国他
資本金	9億7,847万円(2012年9月末現在)
上場市場	JASDAQ上場
従業員数	連結: 856名(2012年9月末現在) グループ全体で約1,200名
売上高	連結: 156億8,773万円(2012年3月期)
経常利益	連結: 29億8,400万円(2012年3月期)
関連会社	エンワールド・ジャパン株式会社 職線人力資源(上海)有限公司 英才網聯(北京)科技有限公司 EN-WORLD SINGAPORE PTE. LTD. en world Hong-Kong Limited. Calibrate Recruitment Pty Ltd en world Korea Co.,Ltd.

成長企業の人材戦略



2012年12月10日  
エン・ジャパン株式会社  
代表取締役社長 鈴木 孝二

業績推移



「爆笑問題」をイメージキャラクターとしたCM放映(2007年)

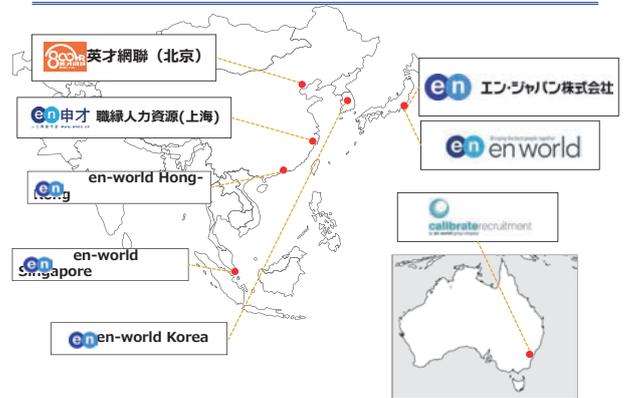
転職は慎重に。

エン・ジャパンCM紹介  
No.1転職サイトのエン・ジャパンが、この夏、人気タレント「爆笑問題」を採用したテレビCMを放映します。このコーナーでは、そのTVCMをご紹介します。是非、エン・ジャパンの新しいTVCMをご覧ください!

新卒採用セミナーで伝える3つの条件

1. 「人間成長®」への賛同
2. 「仕事人間」の肯定
3. 受けた恩は返す

グループ概況



定着・活躍に向けた取組み

- ハードワークの意義・価値を伝える

成長のためのハードワーク・厳しく鍛えられる環境



厳しいだけでは  
従業員はついてこない。

- 努力が報われる職場風土・仕組み作り

日本的要素を付け加えた動機づけ理論

27年間変わらない新卒採用の基本的スタンス

理念共感型の採用

育成視点で学生に接し、  
厳しく鍛える風土を受容させる。

# 会員の 会社紹介

掲示板

この掲示板では会員の方の会社を紹介しております。会社案内、イベント案内など何でも掲載OKですので、是非、あなたの会社もPRしてみたいかがでしょうか！。掲載無料ですので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。

木製建具

注文家具

LIXIL 製品

ユニット、住宅設備機器  
太陽光発電取り扱い

## 有限会社 田中建具店

代表取締役 田中 雅健

〒259-1131 神奈川県伊勢原市桜台 2-28-12  
TEL.0463-95-0481 FAX.0463-95-0523

## 「さがみロボット産業特区」 の実現に！

ロボット推進委員会



数年前から取り組んできた介護ロボットによる地域経済活性化の活動もここで大きな進展が見えてきました。当会からの黒岩知事への熱い提案と働きかけにより神奈川県から国に申請された「さがみロボット産業特区」。

その認可がいよいよ1月末には決定をみることになります。特区に決定すると、この介護ロボット産業が県央地域の新しい産業として、地域経済の発展におおきな弾みをつけてくれるものと確信しております。

## 会員会社ビデオ訪問

今回は、伊勢原市にある小売業を中心に5社を訪問しました。インタビュアーは会員親睦委員会の安齋蒼慶(ギャラリー慶)と小原 正(東横工機株)が担当しました。(第38回例会で放映)



### 吉川醸造株式会社

代表取締役 吉川 勝之氏  
住所：神奈川県伊勢原市神戸 681  
TEL. 0463-95-3071



### 荒川米店株式会社

代表取締役 荒川 誠二氏  
住所：神奈川県伊勢原市板戸 184-1  
TEL. 0463-71-6211



### 株式会社柏木牧場

専務取締役 柏木 貞俊氏  
住所：神奈川県伊勢原市小稲葉 7  
TEL. 0463-92-4129



### 有限会社ブックランド

代表取締役 假屋瀬 和弘氏  
住所：神奈川県伊勢原市伊勢原 1-4-26  
TEL. 0463-92-7787



### 有限会社マルモト

代表取締役 田中 由起氏  
住所：神奈川県伊勢原市伊勢原 1-3-37  
TEL. 0463-91-4330

会員の皆様には、自社の宣伝を兼ねて賞品の御提供をお願いいたします。申込締切・平成25年2月13日(水) 賞品搬入はできるだけ事前に事務局までお願いいたします。

### ○大福引大会の賞品募集します

講演 甘利 明氏 経済再生担当大臣  
新年会アトラクション 大福引き大会

【新春のニュース】  
日時 平成25年2月18日(月)午後6時から  
場所 レンブラントホテル厚木 3階相模の間

### 第40回例会

### インフォメーション